地下水と土を育む農業等の推進に関する計画概要

令和５年３月公表
（令和８年３月変更）

○　土づくり、化学肥料・化学農薬低減の取組である「**くまもとグリーン農業**」の推進や、全国一の面積を誇る施設園芸を始めとする農林水産業の「**CO_2ゼロエミッション化**」を取組の柱に位置付け、環境負荷を低減しながら地下水と土が良好な状態を維持しつつ、**稼げる農林畜水産業**の実現に向けた取組を推進。

【作成主体】 熊本県及び県内全45市町村

【計画の主な目標】

・化学肥料の低減割合：18%（R11）
・化学農薬の低減割合：10%（R11）
・有機農業面積　　：耕地面積の1.6%（R11）　等

【取組のポイント】

・**「くまもとグリーン農業」の取組拡大・高度化**を推進するため、実証展示を活用し新たな取組や新技術の導入、普及・定着を推進

・農林水産業全体で温室効果ガスの削減と吸収促進の取組を推進

・環境に配慮した取組に対し消費者の理解・協力が得られるよう、環境にやさしい農産物の購入機会拡大を推進

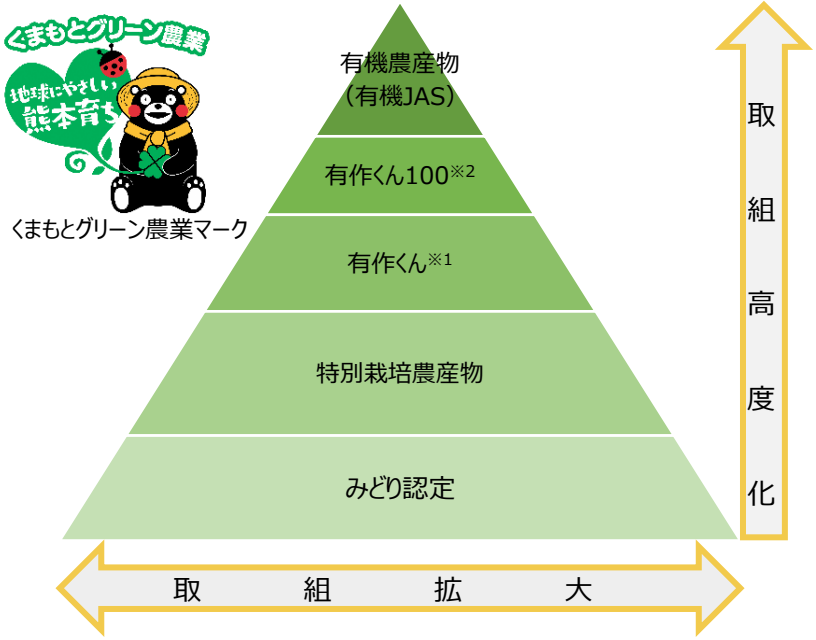
・農林水産団体、流通・販売関係者、有識者等で構成する「熊本県地下水と土を育む農業推進県民会議」による関係機関との連携を強化

【特定区域の設定】

〇有機農業の生産活動の取組

山都町（全域）、南阿蘇村（全域）、菊池市（全域）

くまもとグリーン農業のイメージ



くまもとグリーン農業マーク

※１：化学肥料及び化学合成農薬を慣行の栽培より50%以上減らし、県の認証を受けた農産物
※２：有作くんの認証を受けた農産物のうち化学肥料、化学合成農薬とも栽培期間中不使用の農産物